

賛助会員会報

第151号

令和6年(2024年)12月10日

発行者

公益財団法人長野県長寿社会開発センター
木曾地区賛助会 会長 田中 たつ子

〒397-8550

木曾郡 木曾町福島 2757-1

木曾保健福祉事務福祉課内

電話 0264-25-2218 FAX 0264-24-2350

Eメール kiso@nicesenior.or.jp

伊那支部との交流会を実施しました

6月21日、長野市で行われた地区賛助会連絡協議会の際に、伊那支部 竹内 春利 会長から田中 たつ子 会長に「交流会をやりませんか」とお声がけをいただいたことがきっかけで、11月8日に初めての交流会が実現しました。

冷え込みのたいへん厳しい朝でしたが、伊那支部14名、木曾支部4名が大芝高原に集まり、マレットゴルフを通して交流を深めることができました。優勝は伊那市にお住まいの87歳の女性で、スコアは何と65(・□・;)、ご健康で存分にシニア生活を楽しまれている姿が際立っていました。木曾の会員も、田中会長、秋山副会長が飛び賞をちゃっかり獲得され、喜びを爆発されていました。

表彰式後には、どちらからともなく「来年は木曾でやりましょう」という声が出て、さらなる交流に発展しそうです。



シニア大学2年生講座(9/18)の様子

今年度も8/29に活動グループ交流会(全グループ長・幹事代表参加)を行い、発表内容を確認し合ったうえで、9/18シニア大学2年生講座「賛助会活動の実際」に臨みました。この取組は、賛助会の縦(世代を超えた)のつながりをより強くするものであること、そしてシニア大2年生にとっては賛助会(活動グループ)を理解し、加入促進につながる大切なものです。



賛助会グループごとに特色ある取組についての発表がされました。グループ長さんだけでなく複数人による発表や活動の実演、また、活動時の衣装を用意されるなど様々な工夫を凝らした楽しい発表でした。成果だけではなく、苦労されている点や課題なども話され、2年生のみなさんはじっくりと耳を傾けていました。今後シニア大学では、卒業後の自分の生活や仲間とのつながりについて考え、賛助会入会についても自治会で話し合っていきます。2年生のみなさんがどのような判断をされるのか、じっくり待ちたいと思っています。

三役、幹事長さん、各グループの皆さん、お疲れさまでした。感謝です。



第29回木曾地域シニア作品展開催

11月12日（火）、13日（水）の2日間、木曾町文化交流センターにてシニア作品展が開催されました。今年の出展数は、昨年度を大きく上回る総数 337 点の出展がありました。出品して下さった皆様、ご来場いただきました皆様、会場準備、片づけ、受付、会場警備等にご協力いただきました実行委員の皆様、賛助会員をはじめすべての皆様に厚く感謝申し上げます。

会場の様子



■シニア大学 43 回生（2 年生）「音楽屋」の発表

シニア作品展 2 日目の午後、賛助会講演会に先立ってシニア大学 2 年生の地域活動グループ「音楽屋」の発表が行われました。音楽の楽しさを追求し、一年間取り組んできた活動の発表の場を求めていた 2 年生の要望に賛助会幹事会が応えたことで実現しました。

生バンドの演奏で、「旅人よ」「岬めぐり」のメロディーが軽やかな歌声とともに会場に広がりました。最後は、講演会参加者全員で「ふるさと」を大合唱し、素敵な時間となりました。音楽屋の皆さんは今後も練習を重ね、卒業式に 2 年生全員で合唱をし、卒業したいという願いを持っています。



■白木染工房「藍 しろき」 白木 節子 様 演題「健（たけ）はわが家の宝物」



優しい語り口の中に白木さんの信念を強く感じ、あっという間に時間が過ぎてしまう素晴らしいお話でした。自分を信じ、息子さんを信じ、周りのみんなに協力していただき、子育て、自分磨きをされていることが手に取るようにわかり、会議室前に展示させていただいた健夫さんの藍染作品やその時々で健夫さんが綴ってこられた言葉の素晴らしさがあらためて理解できました。

参加者約 50 名。感想の一部を紹介させていただき、報告に変えたいと思います。

・お話を聞いていてすごく感動し、感心し、深い愛情を感じました。でも・・・どうしてこんなすごい子育て、生き方ができたんだろう？想像もできない世界(内容)でした。三人のお兄さんたちの様子も伺い、節子さん本当にすごいお母さんだな～、何て素敵なお母さんだろうと思います。ご家族のことも何となく浮かんでくるような気がしました。時間をうま～く使って、素晴らしい生活をされてきたな～と自分の生き方を顧みるひと時でした。ありがとうございました。

健ちゃんが描いた商品買いました。手拭いやハンケチを使うたび、節子さんのお話を思い起こして、自分も豊かになったいいなあと思います。

・小学校を健夫さんと寄り添って歩んだお母さんに大きな拍手を贈ります。誰にでもできることではないです。健夫さんの自立、成長は、お母さんの成長でもありますね。素晴らしい！！電車好きが、色々人生の学びがあったんですね。「小澤征爾が友達」って、楽しい青春だったんだろうね。毎日日記を書いているってすごいです。本を何回も読む心、いいね。「壁を乗り越えても次の壁が来る」「生命の大切さは健夫から教わりました」、お母さんこれからも前を向いて歩んでください。子どもに寄り添って「大丈夫だよ」と過ごすこと、本当にその通りです。

・とても良いお話でした。最初は笑いのあるお話でしたが、健夫さんについてのことでは、とてもつらい事を一生懸命話していただきました。兄弟、家族の絆を強く感じました。「できる範囲でやる」、この言葉は心に沁みました。これは自分の人生にも言えることです。最初からあきらめずやれることをやる・・・これからもこの言葉を忘れることなく歩いていきたいと思います。「その日を楽しむ」・・・自分の人生もそのよう生きたいと思います。

・母の愛と知恵がすごいと感動しました。今日は、生きることの大切さと楽しみ方を考えさせられました。大好きな人と一緒にいられることは幸せですね。障がい(者)って何なんだろうということも考える時間となり、今日はお話を聞かせていただき、本当にありがとうございました。子どもは宝物ですね。

・新聞に載っていたのを見て、知ってはいましたが、お母さんの講演を聴き感動しました。賢く、気丈な方で、何でも吸収できる力の持ち主ですね。健ちゃんがうらやましいです。

白木節子さん、健夫さんからお手紙をいただきました

先日は大変お世話になりました。
長時間の話になつてしまつて、本当に申し訳りありませんでした。
健夫の作品をとてもきれいに展示していただき、健夫はとても喜んでつきました。
シニア大学の皆様の作品、すばらしかったです。
講演会のお話をいただいた時、どうしよう、私でいいのかと思つたが、ただひたすら一生けんめいに行なっている健夫の事を一人でも多くの方々に知っていただける事、ちやうど健夫が休みの日、健夫に私の話を聞いてもらえたい、機会がとも思ひ、あかたぐく講演させていただきました。

健夫は家に帰り、全部知っている歌で大きな声で歌えたり、ママの話もいっぱい聴いたし、みんながやさしくしてくれて嬉しかった、と言つてました。
皆とお友達にくれたから、ぼくの家へ遊びに来て、楽しく染め物してほし、ね、と言つてました。
健夫が、こんな気持ちになつてくれて、とてもありがたかったです。とても良い思い出になる事でしょう。
皆さん、本当にお世話になりました。

行き帰り見た山々、とてもきれいに紅葉して、すばらしい風景でした。
寒さきびしい日々になりますが、皆様お元気で過ごし下さい。

節子



この間は、ぼくの作品を展示したり、ぼくの作った口物もいっぱい売ってくれてありがとう。
ママがぼくの話もいっぱいしたのを聞いてくれて、うれしかったよ。ありがとう。
みんなに、やさしくしてもらつて、とてもうれしかったよ。
歌も歌えて、楽しかったよ。
こんど、ぼくの家へ遊びに来てね。

これから、がんばるよ。
みんな元気でいてね。

たけ夫

賛助会活動グループの様子

4ピースプラス

令和2年度結成。保育園や小学校、公立図書館等を訪問し、絵本の読み聞かせを通して子どもたちとの交流を図ることを活動目的としています。

写真は11月29日に木祖中学校で行われた全校読書会での読み聞かせの様子です。4ピースさんの他にも多くの読み聞かせグループ・個人がブースを開いていました。

生徒の表情や反応にあわせて丁寧にページを進めたり、楽器を交えたりして臨場感を高めるなどたいへんレベルの高い活動をされていました。



2024 信州ねんりんピックの様子

長野市ホクト文化ホールで行われた県シニア作品展と式典、交流会に幹事会5名、事務局3名で参加しました。

作品展では、木曾地域から多くの方が入賞を果たしました。おめでとうございます。詳細は以下の通りです。

交流会は長野市や北信地域の活動グループが日頃の成果を発表し、たいへん見ごたえがありました。来年は、中信地区が当番となります。木曾地区でも作品展、式典、交流会が予定されています。

長野県シニア作品展木曾地区入賞者 ※敬称略			
氏名	賞	作品(名)	所属等
① 田中たつ子	長野県シニアクラブ連合会会長賞	写真「光のメッセージ」	賛助会
② 松原文江	奨励賞	書「隸書で40文字」	賛助会
③ 兒野喜穂	長野県共同募金会会長賞	彫刻「地藏菩薩像」	シニア大2年
野村 武敏	長野県知事賞	洋画「縄文曼荼羅」	賛助会
岩井 孝雄	長野県社会福祉協議会会長賞	彫刻「釈迦如来立像」	木曾町
桜井 法子	奨励賞	書「曹全碑」	南木曾町
和泉 恵子	奨励賞	書「五言句」	木祖村



中信地区賛助会懇談会に参加しました

11月26日(火)松本合同庁舎にて中信地区の3賛助会役員が集まり懇談会を行いました。木曾からは事務局を含め6名参加しました。

午前には各賛助会の特色を会長が発表し、意見交換を行いました。午後は、松本市内の旧開智学校をボランティアガイドの案内で見学しました。



編集後記

今年の紅葉は夏の暑さから急に気温が下がり、気候の変化について行かない木々の葉たちで、「きれい!」とは言えない山々でした。しかし、秋の味覚「松茸」は豊作だったとか…。皆さん味わうことができましたか?

近年は四季というものを感じにくくなっている気がします。異常気象と言われ、日本を含め世界中で災害が起きているのも当たり前にならなければ良いのですが…。地球温暖化は確実に進んでいます。これを抑えるため、私にできることをして、美しい地球を残したいと思うこの頃です。

(会報担当幹事 小椋 温子)